2015年度通訳案内士試験
＜合格必勝セミナー＞資料
（2015年5月2日）

ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

通訳案内士試験ガイドライン

Ⅰ．試験全体について

(1)目的

・試験の目的は、「通訳案内士として必要な知識及び能力を有するかどうかを判定すること」（通訳案内士法第5条）であり、出題方針も、通訳案内の実務に沿った内容、レベルの問題を出題することとする。

(2)試験方法

・受験資格は、不問とする。
・試験科目は、筆記（第1次）試験については外国語、日本地理、日本歴史並びに産業、経済、政治及び文化に関する一般常識（以下単に「一般常識」という。）とし、口述（第2次）試験については通訳案内の実務とする。
・外国語についての筆記試験（以下「外国語筆記試験」という。）は、通訳案内士の業務を適切に行うために必要な読解力、日本文化等についての説明力、語彙い力等の総合的な外国語の能力を問うものとする。
・日本地理、日本歴史及び一般常識についての筆記試験（以下「日本地理等筆記試験」という。）は、日本の観光地等に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。
・口述試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史及び一般常識に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するものとする。
・口述試験は、日本の観光地等に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。

(3)試験委員

・通訳案内士試験委員（以下単に「試験委員」という。）は、原則として、外国語筆記試験については外国語ごとに2人以上、日本地理等筆記試験については科目ごとに2人以上、口述試験については外国語ごとに2人以上選任されるものとする。
・試験委員は、筆記試験においては、試験問題の作成、答案の採点及び合否の判定に関する事務を行い、口述試験においては、試験問題の作成及び合否の判定に関する事務を行う。
・試験問題の作成に当たっては、問題案を作成する試験委員と内容をチェックする試験委員を分けるなど、十分なチェック体制を確立し、一部の受験者だけに有利になる問題や、内容に偏りがある問題等の出題を回避する。

(4)合否判定

・筆記試験の合否判定については、科目ごとに合格基準点を設定し、すべての科目について合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。受験者には筆記試験の合否のほか、科目ごとに合格基準点に達したか否かを通知する。
・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、当該科目の試験委員と試験実施事

務局から構成される検討会を開催する。その結果、必要があると判断された場合には、合格基準の事後的な調整を行う。この調整は、平均点の乖離度及び得点分布を考慮して行う。
・口述試験の合否判定については、本ガイドラインに従い、あらかじめ評価項目ごとに具体的な評価基準を設定した上で、合格基準点（原則として6割）に達しているか否かを判定することにより行う。

Ⅱ．外国語筆記試験について

（1）試験方法

・試験は、通訳案内士の業務を適切に行うために必要な読解力、日本文化等についての説明力、語彙力等の総合的な外国語の能力を問うものとする。
・出題する外国語は、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語及びタイ語とする。
・試験の方法は、記述式とする
・試験時間は、120分とする。
・試験の満点は、100点とする。
・出題は概ね、外国語文の読解問題2題（配点25点程度）、外国語文和訳問題1題（15点程度）、和文外国語訳問題1題（30点程度）、外国語による説明（あるテーマ、用語等について外国語で説明する）問題1題（30点程度）を基準とする。
・言語によっては、完全な多肢選択式（マークシート方式）または、多肢選択式及び記述式の組み合わせによる出題とする。後者の場合、和文外国語訳問題1題、外国語による説明問題1題は記述式により出題するものとする。

（2）合否判定

・合否判定は、原則として70点を合格基準点として行う。

Ⅲ．日本地理筆記試験について

（1）試験方法

・試験は、日本の観光地等に関連する日本地理についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。
・試験の方法は、多肢選択式（マークシート方式）とする。
・試験時間は、40分とする。
・試験の満点は、100点とする。
・問題の数は、40問程度とする。
・内容は、地図や写真を使った問題を中心としたものとする。

（2）合否判定

・合否判定は、原則として70　点を合格基準点として行う。

Ⅳ．日本歴史筆記試験について

（1）試験方法

・試験は、日本の観光地等に関連する日本歴史についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。
・試験の方式は、多肢選択式（マークシート方式）とする。
・試験時間は、40分とする。
・試験の満点は、100点とする。
・問題の数は、40問程度とする。
・内容は、地図や写真を使った問題を中心としたものとする。

（2）合否判定

・合否判定は、原則として70点を合格基準点として行う。

Ⅴ. 一般常識筆記試験について

（1）試験方法

・試験は、現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。
・試験の方式は、多肢選択式（マークシート方式）とする。
・試験時間は、40分とする。
・試験の満点は、100点とする。
・問題の数は、40問程度とする。
・内容は、最新の「観光白書」や新聞（一般紙）に掲載された時事問題をベースに出題する。

（2）合否判定

・合否判定は、原則として60点を合格基準点として行う。

Ⅵ. 口述試験について

(1)試験方法

・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史及び一般常識に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するものとする。
・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。
・試験は、日本の観光地等に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。
・試験時間は、10分程度とする。
・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。

(2)合否判定

・合否判定に当たっては、試験官ごとに基準が大きく異なることがないよう、あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な評価基準を設定しておくものとする。合否判定は、原則として6割を合格基準点とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。

評価項目

・プレゼンテーション
・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等）
・文法及び語彙
・発音及び発声

＜通訳案内士試験ガイドライン＞変更のポイント

【1】筆記試験出題方針

【外国語】
外国語→日本語訳する力を重視した配点から日本語→外国語訳する力を重視した配点

・外国語長文の読解2題	35点→25点
・外国語文の和訳1題	15点→15点
・和文の外国語訳1題	15点→30点
・あるテーマ、用語の外国語による説明1題	20点→30点
・単語を訳す問題1題	15点→削除

・言語によっては、完全な多肢選択式（マークシート方式）または、多肢選択式及び記述式の組み合わせによる出題とする。後者の場合、和文外国語訳問題1題、外国語による説明問題1題は記述式により出題するものとする。

【日本地理、日本歴史】
・日本地理、日本歴史について主な事柄（日本と世界の関わりを含む）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての知識を問う
→日本の観光地等に関連する主な日本地理・日本歴史の事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問う

・内容は、中学校及び高校の教科書並びに地図帳をベースとし、地図や写真を使った問題を3割程度出題
→内容は、地図や写真を使った問題を中心としたものとする

【一般常識】
・高校の現代社会の教科書をベースに、新聞（一般紙）に掲載された最近の時事問題や、最新の「観光白書」に掲載されている観光をめぐる動向を加味したもの
→最新の「観光白書」や新聞に掲載された時事問題をベースに出題し、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問う

筆記試験問題作成・合格基準
・平均点が60点程度となるような出題に努める→削除

・合格基準は、これを前提に概ね60点（外国語は70点）
→合格基準は、外国語、日本地理、日本歴史は70点、一般常識は60点とする。

【1】2次口述試験
・試験時間は8分程度とする。→試験時間は10分程度とする。

●共同通信から配信された記事に注意！

共同通信から配信された東京新聞（4月27日）の記事には、「日本の地理や歴史も世界遺産の写真を見せるなどして、ガイド業務に必要な知識を問う」とあり、＜ガイドライン＞にはない内容【世界遺産の写真を見せるなどして】の記載があり、注意が必要です。

・東京新聞（4月27日）の記事全文

＜通訳案内士、実務と説明能力重視　2015年度の試験＞

政府観光局は27日、観光ガイドの国家資格「通訳案内士」の2015年度試験の願書を、5月18日～6月29日に受け付けると発表した。今回から、一般常識などは実務に役立つ知識に力点を置き、外国語は口述試験の時間を延ばすなどコミュニケーション能力を重視する方式に変更する。1次試験の筆記試験は8月30日、2次試験の口述試験は12月13日に実施し、合格発表は来年2月10日を予定している。

「難しすぎる問題がある」との指摘があった一般常識は観光白書や時事問題をベースとする。日本の地理や歴史も世界遺産の写真を見せるなどして、ガイド業務に必要な知識を問う。（共同通信）

・上記記事のサイト

http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2015042701001799.html

2015年度＜通訳案内士試験合格必勝法＞

【1】第1次筆記試験＜合格必勝対策＞

【外国語】（合格基準：70点）

問題の種類	配点	＜合格必勝対策＞
・外国語長文の読解2題	35点→25点	教本Aと教本B
・外国語文の和訳1題	15点→15点	教本Aと教本B
・和文の外国語訳1題	15点→30点	「300選」の暗記
・あるテーマ、用語の外国語による説明1題	20点→30点	「300選」の暗記
・単語を訳す問題1題	15 点→削除	

●教本A、教本Bは、下記の学習コーナーで無料受講することができます。

・動画学習コーナー(6科目、79講義、158時間の動画を無料公開!)
http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/aa9caa987007e8ef9f390a0a88c6e667

・音声学習コーナー(9科目、100講義、200時間の音声を無料公開!)
http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/89f4804d90b83a179d69e92565f0a210

●「300選」とは「日本的事象英文説明300選」のことである。

【日本地理、日本歴史】（合格基準：70点）

日本の観光地等に関連する主な日本地理・日本歴史の事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問う。内容は、地図や写真を使った問題を中心としたものとする。

＜合格必勝対策＞

マラソンセミナーの日本地理、日本歴史プラス下記の推薦参考書

【一般常識】（合格基準：60点）

最新の「観光白書」や新聞に掲載された時事問題をベースに出題し、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問う

＜合格必勝対策＞

マラソンセミナーの**一般常識**プラス下記の推薦参考書

【2】合格基準の違いの理由

外国語、日本地理、日本歴史の合格基準が70点なのに、一般常識のみが何故60点なのか。
これまで、第1次試験4科目について、出題者は平均点が60点になるように作成してきたが、通常、一般常識の平均点は、他の科目と比べて5点～10点低かったようだ。
通訳案内士試験の問題には、難問、奇問が多いとの批判が、かねてからあり、今後、難問、奇問を出題しないようになったようであるが、一般常識は、依然として、他の科目と比べて、平均点が低くなるだろうとの観測から、合格基準を他の科目より10点低く設定したものと考えられる。

推薦参考書

凡例：★の数が多いほど推薦できる。

●地図とデータでよくわかる「日本地理」（★★★）（地理対策）
（JTBパブリッシング）（1300円）（2013年12月1日）（143ページ）
地図、図版、文章で、いまさら聞けない「？」を徹底解説。

●「旅に出たくなる地図（日本）」（★★★）（地理対策）
（帝国書院）（2400円）（2014年3月10日）（251ページ）
世界遺産に登録された「富士山」「小笠原諸島」や、話題の「豪華列車の旅」「東京スカイツリー」など、新たに特集頁を掲載して、8頁増! 美しい地図とダイナミックな鳥瞰図が満載で、いつかは行ってみたい観光名所へ、自宅にいながら旅行気分が味わえる! これからの旅行のプランニングや、これまでに行った旅先の振り返りにも最適!

●「旅地図（日本）」（★★★）（地理対策）
（昭文社）（2000円）（2015年5月1日）（208ページ）
日本全国の人気、定番エリアをくまなく収録。旅ネタ満載。ビジュアルマップ。写真+記事+アイコンで見やすい名所・観光ｽﾎﾟｯﾄ1000収録。絶景ギャラリー、世界遺産、国指定文化財、日本の100選（山、名水、城、滝、白砂青松、さくら）、

●今がわかる、時代がわかる「日本地図」2015年版（★★★）（地理・一般常識対策）
（成美堂出版）（1600円）（2015年1月10日）（255ページ）
日本の「今」を詳らかにする「元祖情報地図」。政治、社会、産業経済、交通・情報などの「テーマ」別日本の現状を豊富な図表や写真を使って解説している。・

●ニュースがスイスイわかる「なるほど知図帳2015」（★★★）（地理・一般常識対策）
（昭文社）（1600円）（2015年）（251ページ）
特集①：2015年の展望：日本はこうなる！政治・経済・外交・インフラなど日本のこれからを徹底分析。特集②世界に誇れる！ニッポンの最先端技術。
ニュースで気になる話題を押さえた圧巻の67テーマ!!

●「完全制覇国内旅行地理検定試験」（★★）（地理対策）
（一ツ橋書店）（1500円）（2015年4月27日）（247ページ）
旅行業務取扱管理者試験に対応。①データ編、地域別問題で標準知識をゲット。②温泉、自然景観地を全国地図で位置確認。③四択問題で解答力アップ。④反復設問で弱点補強。

●一発合格！「旅行業務取扱管理者試験①観光地理テキスト」（★★）（地理対策）
（大原出版）（1500円）（2014年12月15日）（336ページ）
初めて学ぶ方でもよくわかる「旅行管理者試験の基礎知識」を掲載。頻出問題を厳選。

●一発合格！「旅行業務取扱管理者試験①観光地理トレーニング問題集」（★★）（地理対策）
（大原出版）（1000円）（2014年12月15日）（176ページ）
「総合」「国内」試験の「旅行実務」科目の「観光地理」に対応。重要度ランク付き、だから、スムーズに実力アップ。

●「日本の世界遺産」（★★★）（地理・一般常識対策）
（JTBパブリッシング）（1200円）（2012年発行）（141ページ）
写真と説明が充実している。2012年発行なので、富士山と富岡製糸場と絹産業遺産群が掲載されていない。

●「日本の世界遺産めぐり」（★★）（地理・一般常識対策）
（昭文社）（1000円）（2015年発行）（79ページ）
写真と地図と説明が充実している。

●アドバンス「中学歴史資料」（★★★）（歴史対策）
（帝国書院）（2015年2月25日）（233ページ）
歴史が苦手な方の入門書として最適。難しい漢字には、すべてひらがながふってある。

●地図とデータでよくわかる「日本史」（★★★）（歴史対策）
（JTBパブリッシング）（1300円）（2013年7月1日）（143ページ）
高い理解度。データ満載の地図。魅力の人物伝。明治維新とは武士の大規模リストラだった？織田信長のイノベーション戦略とは？人は城、人は石垣、人は堀。

●「地図で訪れる歴史の舞台」（★★）（歴史対策）
（帝国書院）（2000円）（2013年7月10日）（226ページ）
「ここで歴史が動いた！」をテーマに、日本各地の歴史の舞台を解説したユニークな本である。文字だけではつかむことができない史実を写真と地図で分かりやすく説明してある。但し、本書は歴史書ではないので、歴史の流れを学ぶことはできない。

●山川ビジュアル版「日本史図録」（★★）（歴史対策）
（山川出版社）（840円）（2014年12月25日）（280ページ）
定番の参考書。

●詳説「日本史図録」（★★）（歴史対策）
（山川出版社）（860円）（2015年1月25日）（360ページ）

●「新詳日本史」（★★）（歴史対策）
（浜島書店）（857円）（2015年2月4日）（361ページ）

●「プロムナード日本史」（★★★）（歴史対策）
（浜島書店）（819円）（2015年2月4日）（241ページ）
勉強しやすい。

●観光白書（平成26年版）（★★★）（一般常識対策）
（平成 27 年版は、7月 20 日発行予定なので、平成 26 年版を利用すればよい）

●「'16年版　最新最強の一般常識」(★★★)(一般常識対策)
(成美堂出版)(1200円)(2014年6月20日発行)(207ページ)
2014 年度の一般常識で、4 題の類似問題が本書より出題されている。
時事問題は、「政治」「国際情勢」「経済」「産業」「金融」「科学・技術」「自然・環境」「社会・生活」「教育・文化」「スポーツ・芸能」 の 10 分野に、一般常識問題は、「国語・社会」「数学・物理化学」「英語」の 3 分野に分けられている。

●「'16年版　最新最強の一般常識　一問一答」(★★)(一般常識対策)
(成美堂出版)(1200円)(2014年6月20日発行)(239ページ)
「政治」「国際」「社会」「地理・歴史」「文化・スポーツ」の各ジャンルを網羅。一問一答形式で知識の整理ができる。

●「一般常識＆最新時事」(★★★)(一般常識対策)
(新星出版社)(1200円)(2014年12月5日発行)(207ページ)
重要最新時事問題を網羅。絶対におさえておきたい一般常識を厳選。[別冊]業界別重要キーワード付き。通訳案内士試験の一般常識の問題と似た問題が満載。

●就活生1000人に聞いた「一般常識＆最新時事」(★★★)(一般常識対策)
(新星出版社)(1200円)(2014年12月5日発行)(207ページ)
時事問題の「今」がわかる。一般常識の知識の整理に最適。

●「一般常識＆時事　一問一答」(★★)(一般常識対策)
(高橋書店)(1000円)(2014年7月25日発行)(159ページ)
別冊「イッキに！最新時事＆業界別キーワード」。一般常識の知識の整理に最適。

●「最新時事用語＆問題」(★★★)(一般常識対策)
(新聞ダイジェスト社)(1300円)(2015年2月12日発行)(223ページ)
知っておきたい話題や基本の135用語を網羅。この1冊で、小論文、就職、資格対策も完璧。

●「一般常識＆時事問題」(★★)(一般常識対策)
(新聞ダイジェスト社)(1000円)(2014年12月15日発行)(223ページ)
巻頭特集:最新時事問題模擬テスト。一般常識の知識の整理に最適。

●「時事キーワード」(★★)(一般常識対策)
(新聞ダイジェスト社)(1000円)(2014年12月16日発行)(225ページ)
この 1 年間に聞いた時事用語をやさしく解説。最頻出「重要ワード」28。
一般常識の知識の整理に最適。

●今がわかる「最新時事用語2016」(★★)(一般常識対策)
(成美堂出版)(1000円)(2014年12月20日発行)(143ページ)
これだけは知っておきたい「最重要キーワード」を網羅。7 ジャンル 118 のキーワードをビジュアル図解。一般常識の知識の整理に最適。

●図解まるわかり「時事用語」(★★)(一般常識対策)
(新星出版社)(1200円)(2015年1月5日発行)(143ページ)
絶対おさえておきたい最重要時事を完全図解。目で見てわかるニュースの大疑問。

2014年度第2次口述試験の実際

【1】試験委員

外国人と日本人の二名の試験委員により試験が実施された。

【2】試験時間:8分(入室、退出時間に各1分、合計一人10分単位で交代する)

【3】試験の実施要領

(1)最初に氏名と受験番号が聞かれる

(2)日本語→外国語の逐次通訳

①短い日本文が一度だけ読み上げられる。
②その際、用意された筆記用具を使ってメモを取ることができる。
③1分以内に外国語で通訳する。

(3)プレゼンテーション

①プレゼンテーションのテーマが一つ記載された3枚のカードが渡される。
②30秒以内に、どのテーマでプレゼンテーションを行うか決めて、話す準備をする。
③その際、用意された筆記用具を使ってメモを取ることができる。
④2分間のプレゼンテーションを行う。
⑤1分経過したところで、試験官から合図がある。
⑥プレゼンテーション終了後、試験官との質疑応答がある。

【4】試験室



(1)家族、恋人、ペットの写真に代え、上記写真を携帯、スマホの待受画面に設定し、「常在戦場」の意識を高めておくことが重要である。

(2)武術に女性や家庭は百害あって一理なしと孤高に生き抜いた宮本武蔵は、生涯独身を通し、「剣聖」となった。武蔵がスマホを持っていたら、佐々木小次郎との決闘の前に、お通ではなく、巌流島の写真を待受画面にしていただろうことは容易に想像できる。

(3)試験会場(昭和女子大)では、試験室の中のやり取りが、ドアから洩れ出て、よく聞こえる場合がある。普段から、周りの人のささやきなどに聞き耳を立てて、聴く練習をしておくことが大切である。



外国人観光客の関心を探る

【1】国別訪日旅行者（上位10カ国）の人数と訪問地

（　）内の人数は、2014年度の各国からの訪日旅行者数です。

＜韓国＞（276万人）

東京都内、東京周辺、関西の観光地のほかに、福岡市、別府、阿蘇山、熊本市といった九州の観光地が上位を占める。

＜台湾＞（283万人）

大阪市（22.1％）と新宿（22.1％）が1位。大阪市は3年連続でトップ。また、東北や北陸の伸びが著しく、札幌・定山渓、小樽といった北海道の観光地もランキングの上位にあがっている。

＜中国＞（241万人）

1位大阪市（40.4％）、2位京都市（30.2％）の訪問率が非常に高く、箱根や富士山といったゴールデンルート上の観光地の訪問率が高い。

＜香港＞（93万人）

1位新宿（42.5％）の訪問率が非常に高く、東京ディズニーリゾートの訪問率も他市場と比べて高い。また、札幌・定山渓、小樽、富良野といった北海道の観光地がランキングの上位にあがっている。

＜米国＞（89万人）

東京都内、京都市、大阪市、名古屋といった大都市、産業都市に加えて、広島市、奈良市、鎌倉等日本の伝統文化を鑑賞できる観光地が上位を占める。

＜タイ＞（66万人）
＜オーストラリア＞（30万人）
＜マレーシア＞（25万人）
＜シンガポール＞（23万人）
＜カナダ＞（18万人）

【2】訪日外国人旅行者の目的

①観光・レジャー（79.1％）
②親族・友人訪問（6.6％）
③商用（6.2％）
④新婚旅行（5.3％）
⑤勉強・研修（1.5％）
⑥会議・見本市・展示会参加（1.5％）

【3】TIC 利用の外国人が感じる日本滞在中の不便な点、良かった点、
（TIC＝Tourist Information Center）

（1）不便な点

「言葉」「交通」「通信」の 3 つに大別される。

【言葉に関する問題・・・61 人】

・街中で英語が通じない。（多数）
・道路に英語の標識や名称がない場合が多い。（多数）
・観光地や美術館で英語の説明表示が少ない。（多数）
・英語を話せる人が少なく、道案内程度なら何とかなるが、それ以上の会話・交流となるとなかなか難しい。
・もっと日本語がうまくなりたい（多数）
・レストランのメニューや店舗での商品説明にもっと英語を使ってほしい。
・チケット販売機（例：ジブリ美術館のチケットを唯一取り扱うローソンの「Loppi」の案内表示が日本語だけで不便。
・テレビで英語の吹き替えでニュースや天気予報を確認したかった。

【交通に関する問題・・・45 人】

・都内は JR や私鉄、地下鉄など、路線が多く料金・ルートが分かりにくい（多数）
・駅構内で英語の案内表示が少ない。（多数）
・路線バス車内やバス停に英語案内表示が少ない。
・英語のアナウンスが少ない。
・東京を出ると英語やローマ字表記が少ない。
・駅員に英語が通じない。
・時刻表が日本語のみで分かりにくい。
・電車の出発ホームが分かりにくい。
・プラットフォームに椅子がもっとほしい。
・事前で、インターネットで調べたお店や観光地へのアクセスが実際は想像より不便。
・乗り換えが複雑で、荷物を持っての移動が大変。
・日本政府は、外客向けに観光地間を移動できる無料または低廉なチケットを用意すると良い。
・京都に駐輪場が少ない。

【通信に関する問題・・・41 人】

・インターネットアクセスができるところが見つからない（多数）
・無料 Wi-Fi が少ない。（多数）
・Wi-Fi 設備が少ない。（多数）
・インターネット接続料金が他国より高い。
・Wi-Fi に接続しようとしたら、操作表示が日本語のみだった。
・持参した携帯（スマートフォン）が使えない。
・日本の SIM カードを入手したいが、どうすればよいか分からない。

・(日本の SIM カードを入手したが)持参した端末が使えない。
(※SIM ロックがかかった端末と思われる)

【その他】

●ゴミ箱に関する問題・・・16 人
・街中にゴミ箱が少ない。(多数)

●観光案内所に関する問題・・・12 人
・JNTO の TIC のような案内所がもっとほしい。
・TIC が見つけにくい。(多数)
・駅にもっと観光案内所がほしい。
・英語が通じない観光案内所は不便。
・宿泊予約ができない観光案内所は不便。

●両替・キャッシングに関する問題・・・8 人
・ATM が見つけにくい。(多数)
・ATM で自分のクレジットカードが使えない。
・銀行を見つけにくい。

●宿泊施設に関する問題・・・5 人
・ホテルの部屋が狭い。
・連泊しても朝 10 時から夕方 4 時まで部屋を空けなければならないのは不便。
・ホテル周辺の詳細地図がほしい。
・ガイドブックにホテルの電話番号の局番が載っていなかった。

●入国に関する問題・・・3 人
・空港での入国審査で 1 時間以上待たされる。
・トルコ人に発給されるビザが短過ぎる。

●物価に関する問題・・・3 人
・食べ物と宿泊が高い。
・低料金でできることが少ない。

●買い物に関する問題・・・1人
・お店が閉まるのが早い。

●印刷物に関する問題・・・1人
・ロシア語のパンフレットが少ない。英語版同様に、豊富にしてほしい。

（2）良かった点

日本人の礼儀正しさや優しさ、街の整備具合や清潔さを挙げるコメントが目立った。

【問題なし・・・39 人】

・日本は人が素晴らしい。礼儀正しい。（多数）
・何かあっても周囲が親切に助けてくれる。（多数）
・街が良く整備されていて、清潔。（多数）
・日本、特に東京は旅行しやすい。
・日本のサービス業は素晴らしい。
・英語の案内表示が整備されている。

【観光案内所・・・9 人】

・TIC は役に立つ素晴らしい案内所である。
・観光案内所のスタッフはとても親切。頼りになる。
・鉄道・宿泊の予約ができる案内所は非常に便利。

【交通・・・8 人】

・鉄道関係が良く整備されている。（多数）
・ジャパンレールパスが素晴らしい。
・時間に正確。
・地下鉄の各駅に番号が振られているのが良い。
・電車内に荷物を置き忘れ、遺失物取扱所が閉まっている日だったが、都内の JR 駅員が 2 時間以内に取り戻してくれた。とても親切で助かった。

【その他】

・ツーリスト・ディスティネーションとしておススメの国。
・素晴らしい国。東京が 2020 年のオリンピック開催都市になれることを願う。
・食品の自動販売機が面白い。

【4】特に満足した食事（国別）（JNTO 訪日外客訪問地調査 2010 より抜粋）

全体

	2009（N=1,645）			2010（N=12,277）	
1	寿司	42.1%	1	寿司	44.0%
2	ラーメン	20.8%	2	ラーメン	24.0%
3	刺身	19.8%	3	刺身	19.7%
4	天ぷら	11.1%	4	うどん	10.8%
5	うどん	8.9%	5	天ぷら	9.7%
6	魚介・海鮮料理	7.2%	6	魚介・海鮮料理	8.8%
7	蕎麦	6.0%	7	蕎麦	7.8%
8	しゃぶしゃぶ	4.9%	8	お好み焼	5.7%
9	焼肉	4.5%	9	とんかつ・カツ丼	5.4%
10	とんかつ・カツ丼	4.1%	10	しゃぶしゃぶ	5.0%

注）本設問は、2009年は秋調査のみ実施したが、2010年調査では4回の調査全てで実施したため、回答者数は大きく異なっている。

タイ・マレーシア・シンガポール・インド

	2010（N=805）	
1	寿司	42.9%
2	ラーメン	28.0%
3	刺身	25.5%
4	天ぷら	11.1%
5	うどん	10.3%

豪州

	2010（N=415）	
1	寿司	44.1%
2	刺身	26.7%
3	ラーメン	23.9%
4	天ぷら	16.6%
5	うどん	14.9%

韓国

	2010（N=2,818）	
1	寿司	43.3%
2	ラーメン	28.4%
3	うどん	14.9%
4	とんかつ・カツ丼	9.9%
5	蕎麦	7.8%

中国

	2010（N=1,166）	
1	寿司	31.5%
2	刺身	25.9%
3	ラーメン	23.1%
4	魚介・海鮮料理	17.4%
5	焼肉	9.4%

米国・カナダ

	2010（N=1,825）	
1	寿司	52.4%
2	ラーメン	16.0%
3	うどん	14.7%
4	刺身	14.6%
5	天ぷら	14.5%

台湾

	2010（N=1,672）	
1	ラーメン	33.5%
2	刺身	23.7%
3	寿司	21.7%
4	魚介・海鮮料理	16.0%
5	焼肉	7.1%

香港

	2010（N=944）	
1	寿司	44.1%
2	刺身	31.9%
3	ラーメン	29.3%
4	魚介・海鮮料理	17.9%
5	うどん	9.1%

英・仏・独・伊・西

	2010（N=1,363）	
1	寿司	58.8%
2	刺身	24.6%
3	天ぷら	20.2%
4	ラーメン	17.2%
5	うどん	12.6%